

せい ろう まち  
**せ 聖籠町**  
**議会だより**

VOL.  
**97**  
平成24年1月20日発行

**真剣なまなざしで**



**12月議会主な質疑**

3～6ページ

**12人が一般質問**

8～20ページ

**委員会報告**

21ページ



# 児童遊園設置条例 改正される



▲町内の児童遊園は19カ所となりました

**主な質疑**

**遊具の管理は一元化**

渡辺利道議員 同じような遊具を扱っている、公園はふるさと整備課が管理し、児童遊園は保健福祉課が管理している。管理を一元化した方が効率的でないか。

**従来どおり考えている**

町長 本町レベルの規模では、従来どおりの二元管理で充分対応可能と考えている。

**なぜ今頃廃止案が**

宮沢光子議員 山三賀児童遊園の廃止は22年度で終わってははず。

**手続きが遅れた**

保健福祉課長 手続きが遅れたため、今回の提出となった。

なぜ、今の時期に廃止案が出てくるのか。

賃貸料の支払いは23年3月末で終わっている。

# 12月定例会

平成23年第4回定例会は、12月11日から15日までの5日間で開かれました。町長から行政報告があり、新潟東港が総合的拠点港として、日本海側全国5つの指定港のひとつとして指定されたことなどが報告されました。

児童遊園の設置などに関する条例の一部改正、聖籠町視聴覚ライブラリー設置条例の廃止など8議案を審議し、原案どおり可決しました。

固定資産評価審査委員の選任同意1件、人権擁護委員の推薦2件も原案どおり、同意、適任と認めました。

また、郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書など3件を可決しました。

一般質問では、14人中12人の議員が、拠点港に指定された新潟東港の振興策、農業振興、地域活性化対策券発行事業、行政改革などについて、町政を質しました。

児童遊園の設置及び管理に関する条例を一部改正します。山三賀の児童遊園を廃止し、土地の地番を変更するものです。

# 新春を迎えて



議会議長  
須貝 龍夫

町民の皆さま、明けましておめでとうございます。昨年3月11日に発生した東日本大震災は、地震、津波、放射能汚染と世界でも類を見ない大災害でした。国には、被災地の復旧・復興に向けて一日も早い対応が求められております。

本町では、昨年11月に国より新潟東港が総合的拠点港に指定されました。

今後、新潟県のさらなる発展に大きな期待を抱いておりますが港の機能強化や背後地整備、他県からの集荷アクセスの整備を早く進める必要があると強く感じています。

私共、議会におきましても町民の代弁者として、聖籠町に住んでいて良かったと喜んでいただけるまちづくりを努めたいと思っております。

今年も、皆さまのご健康とご多幸をお祈り致すとともに、議会に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い致します。



# 議員名簿

議会議長	須貝 龍夫
議会副議長	田宮 実
議会議員	青木 順
同	田中 智之
同	渡辺 利道
同	高松 守雄
同	小林 政榮
同	田村 富美男
同	宮沢 光子
同	桜井 怜
同	五十嵐 利栄
同	堀 常正
同	中村 恵美子
同	小川 益一郎





渡邊 幸明さん (網代浜)

固定資産評価審査委員である網代浜の渡邊幸明さんが12月31日で任期満了となることから、再度推薦され、全会一致で適任と認め同意しました。

渡邊さんは、人格、識見とも優れた方であり、これまでの経験を基に適正かつ公平な審査を期待します。

### 固定資産評価審査委員に 渡邊 幸明さん

### 人権擁護委員に 齋藤 常雄さん



齋藤 常雄さん (網代浜)

人権擁護委員である網代浜の齋藤常雄さんが、3月31日で任期満了となることから、再度推薦され、全会一致で適任と認めました。

齋藤さんは、人格、識見共に高く、広く社会の事情に通じ地域社会で信頼も高い人です。引き続き活動に手腕を期待します。

### 行政報告



渡邊町長

- 図書館建設場所が決定
- 新潟東港が総合的拠点港に選定
- 「まちなか防災訓練」を実施

▼10月16日に実施した「まちなか防災訓練」は2087人が参加した。集落区長へのアンケート調査では、避難の際の安否確認の重要性が認識され、地域の助け合いの意識が徐々に浸透しつつある結果となった。

▼生ゴミ堆肥化事業では蓮野小学校区と亀代小学校区に対応する機械整備を行い、1月、2月には対象となる集落に説明会を実施する予定である。

▼地域活性化対策事業では第4回目となる地域活性化対策券を11月20日より1次販売を実施した。今回は予約販売期間を1カ月と長く設定し、中小事業者を対象としたダブルチャンスセールの設定、商工会非会員から登録料を徴収することで実施した。予約の状況は1次販売で95・8%、全世帯の約35%が申し込みを

▼新潟東港が日本海側拠点港に指定され、日本海側港湾をけん引する役割を担う「総合的拠点港」5港の一つに選定された。また、国内初となるコンテナターミナルへの貨物鉄道乗り入れを可能とする港湾計画の変更も正式決定された。

今後は港湾振興並びに機能強化について関係団体と連携をはかりながら取り組む。

▼6月に設置された図書館建設委員会より、建設場所について第1次答申があり、候補地として役場周辺、聖籠中学校周辺、蓮のギヤラリー・弁天湯周辺の3カ所を選定し、最終決定を町にゆだねるとしてあったことから、庁議で検討の結果、役場周辺に決定した。

今後、引き続き図書館建設委員会に基本設計などについて審議いただく。

### 人権擁護委員に 吉井 美穂さん



吉井 美穂さん (丸湯)

人権擁護委員である丸湯の吉井美穂さんが、3月31日で任期満了となることから、再度推薦され、全会一致で適任と認めました。

吉井さんは、人格、識見共に高く、広く社会の事情に通じ地域社会で信頼も高い人です。引き続き活動に手腕を期待します。

# 一般会計補正予算

子ども手当扶助額  
 聖籠子ども園臨時雇賃金  
 ざぶーん館修繕料  
 ざぶーん館利用料減免補償負担金

8914万円減額  
 1019万円減額  
 663万円  
 430万円

平成23年度の既定予算から、1540万円を減額し、総額75億1570万円とするものです。

主なものは、子ども手当扶助額8914万円減額、聖籠子ども園臨時雇賃金1019万円減額、ざぶーん館修繕費663万円などです。

### 主な質疑

#### 図書館建設場所は

小川益一郎議員 図書館

計画委託料50万円の使用目的と、図書館建設場所は、役場周辺のどこをイメージしているか。

#### テニスコート周辺をイメージ

町長 図書館建設場所は役場前のテニスコートか

#### 何台駐車可能か

五十嵐利栄議員 亀代こ

ども園駐車場用地購入で、何台駐車可能か。今後、蓮湯子ども園、蓮野子ども園の駐車場確保の用地買収を考えているか。

#### 40台駐車可能

総務課長 土地購入面積

1113平方メートルで約40台の駐車可能と考えている。

教育長 蓮湯子ども園、

蓮野子ども園の駐車場確保は、用地が確保できるか、他に駐車場として借りる所があるか検討する。

#### 金額なぜ違う

宮沢光子議員 安心子ど

も基金399万円の金額が、園によって大きく異なる理由は何か。

希望をとった  
 保健福祉課長 国全額補助事業で、まごころ、はじめ、せいろう各保育園の希望をとり、絵本、書などを購入する内容である。



▲役場から展望した図書館建設予定地



# 一般会計補正予算

## 主な質疑

### 読み取り器購入するか

**中村恵美子議員** 議会議員選挙の開票が早くできないのは読み取り器を借りた成果と聞いているが、今後読み取り器を購入する予定はあるか。

### 高額でむずかしい

**選挙管理事務局長** 開票が早くできたのは、読み取り器と、開票録作成ソフトの2つがある。

読み取り器は高額で購入はむずかしいが、開票録作成ソフトは安価なので購入を検討している。

### 松くい虫被害対策は

**渡辺利道議員** 松くい虫の被害が大きくなっている。

胎内管内の被害が大きいのは、松くい虫対策の殺虫剤が葉たばこに飛散するとJTが葉たばこを買い取らないため、防除できなくなったという話があるが事実か。

### 数年前から防除していない

**産業観光課長** 胎内市では、松くい虫防除薬を散布し、葉たばこにかかった場合、JTが買い取らないため、数年前から防

### どこまで補償するのか

**小川益一郎議員** ざぶーん館減免補償430万円は、町として本当に対応が必要なのか。企業努力も必要ではないのか。

### 委託契約に基づく補償

**町長** ざぶーんの補償は委託契約に基づいての減免補償である。

今期のざぶーんの経営は、300万円くらいの赤字となる見込みと聞いている。

### なぜ委託会社か

**五十嵐利栄議員** 電話交換を臨時員から委託にかえるのはなぜか。

過去に委託から個人契約そして臨時員対応の経過がある。委託にすると経費はどのくらいアップするか。

### 個人契約望ましくない

**総務課長** 今回は臨時員が出産のため、今後を検討した。

個人契約より委託契約が町の管理運営が容易である。経費は、月3万4000円くらい委託が高くなる。

## 読者の声



大野 重雄さん (次第浜)

### 「幸せとは」

国民の大半が幸福と感じている国、ブータン王国から国王御夫妻が数カ月前来日され、五日間の滞在中に被災地や京都などをまわり帰国なされた。

なぜ国民の大半が幸福と感じているのでしょうか。国王御夫妻を拝見して少しはうなずける思いです。いつも笑顔をやさず手を合せ感謝の念を表わす姿勢に感じられました。幸福感は個々に違いはありますが私たちが

は少し違うように思いますが。昔の日本人も同じような姿勢を示した方が大勢いたのではないのでしょうか。私たちは豊富な物に囲まれて、恵まれているように思いますが、ほんとうにそうでしょうか。

今、私たちのまわりでは暗いニュースがたくさんあります。老人を狙った詐欺、通り魔事件、子ども虐待などの社会問題。また家庭においても子育て、介護など多々あります。いくら豊かで便利

な社会でも幸福とは言えないのではないのでしょうか。

一方、そんなに豊かでもなく便利でもないブータン王国の人々は心の豊かさ、人思いやる気持が幸福につながるのでしょうか。

私たちもできる範囲内で人思いやる心を持ちたいものです。そうすれば多少は幸福度も上がるのではないのでしょうか。

私たちでは難しいことは町政にお願いし、今すぐしてもらいたいこと、10年、20年先を見据えたこと、子どもからお年寄りまで、町民が安心して暮らせるまちづくりを頑張っていた、だいたいと思います。幸福度No.1の町になるようにお願いします。

## みなさんの 請願・陳情

第4回定例会では地域住民より直接の声となります。請願1件・陳情2件が審査され、すべて全会一致で採択されました。

### 採択した請願

◎「郵政改革法案の速やかな成立を求める請願書」  
〔聖籠郵便局長 岩川 俊英〕

### 採択した陳情

◎地域を支える地元建設業の健全化に向けた「公契約法(条例)」の制定を求める意見書提出に関する陳情書  
〔国土交通労働組合 北陸建設支部 新潟国道分会 分会長 佐藤 保志〕

◎直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業への支援を求める意見書提出に関する陳情書  
〔国土交通労働組合 北陸建設支部 新潟国道分会 分会長 佐藤 保志〕

### 意見書を 国・県に提出

第4回定例会で3件の意見書が提出され、全会一致で可決されました。

可決された意見書は、国・県の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

◎郵政改革法案の速やかな成立を求める意見書

◎地域を支える地元建設業の健全化に向けた「公契約法」の制定を求める意見書

◎直轄事業の継続と適正な維持管理、地元建設業への支援を求める意見書



▲3.11地震で湯がとまったざぶーん館



▲松くい虫被害がとまらない松林





渡辺 利道議員

## どう生かす日本海側拠点港

### 町長 関係機関と連携して進める

**問** 新潟東港は日本海側拠点港に選定され、拠点港の中でも中心となる「総合的拠点港」にも位置づけられた。

新潟東港は国際的なハブ港である釜山と12の定期航路を持っており、国内には関越道など高速道路が整備され、交通便利な港だ。木材貯蔵区域の活用を一層推進すると

ともに、構想にある臨港鉄道の延伸も真剣に考慮すべきだと考えるがどうか。

また、LNGはマイナスイ62度という極低温状態で輸入され、LNG1トン当たり240キロワットのエネルギーを持っていると言われている。この冷熱エネルギーを効率的に利用する方法を検

討し、新潟東港の新たな利点として企業誘致に結び付けられないか。

**町長** 港湾機能の強化や鉄道の延伸を関係機関と連携して進める。LNGの冷熱利用は過去に調査を実施したが事業化は困難だった。



▲取り扱い量が飛躍的に増大している東港バース

## どうする聖籠の農業

### 町長 農家自身の自助努力で

**問** 首相はTPP参加に向けた交渉入りを表明した。聖籠町の基幹産業は稲作を主体とした農業であり、TPPへの参加表明は見過ごすことができない事態だ。

今年11月、3市1町の農家が米のおいしさを競い合う「きたのえちごの金賞米コンテスト」が開催され、最高賞に佐々木耕起組合の米が選ばれた。土作りをしっかりと行い、水管理を適切に行えば、聖籠のような下流地域で

もおいしい米を作れることを示してくれた。

また、果樹栽培でも、老朽化した畑灌漑施設の更新に助成し、経営の安定化をはかることが大切なことだと考えるがどうか。

**町長** TPP参加には反対なのでその前提で回答する。うまい米作りに向けて、地力の向上に向けた取り組みが大切だと考えるが、農家自身の対応と考える。町は農協と連携して進める。畑灌漑施設の更新は第3者審査会で

検討することも予想される。

## 12議員が質問

### 渡辺 利道 議員 (9ページ)

1. どうする聖籠の農業
2. どう生かす日本海側拠点港

### 五十嵐 利栄 議員 (10ページ)

1. 防潮堤いつ設置する
2. 東港の防犯対策強化を
3. 行政改革どう取り組む

### 宮沢 光子 議員 (11ページ)

1. 決定か図書館建設場所
2. 児童クラブの環境改善を
3. 公立図書館の役割示せ

### 桜井 怜 議員 (12ページ)

1. 町の観光PRは
2. むし歯予防対策どうする

### 高松 守雄 議員 (13ページ)

1. 拠点港選定に町の取り組みは
2. 町の農業どうする

### 堀 常正 議員 (14ページ)

1. 東港への取り組みは
2. 町の振興につながる情報を

### 小川 益一郎 議員 (15ページ)

1. 新潟州構想とは
2. 取扱店になぜ商工会は差別する

### 田中 智之 議員 (16ページ)

1. TPPに対する町の農業政策は
2. 防災無線受信機を無料貸与に

### 中村 恵美子 議員 (17ページ)

1. 特養ホームの整備計画を
2. 加盟店登録料とらないで
3. 耐震シェルター実施を
4. 住宅リフォーム助成を
5. 医療費助成高校卒業まで拡充を

### 小林 政榮 議員 (18ページ)

1. 東港周辺の整備どうする
2. どこまで伸ばす臨海鉄道
3. 周辺道路の拡充急げ

### 田宮 実 議員 (19ページ)

1. どう生かす拠点港
2. 町の木と花も記念樹に

### 青木 順 議員 (20ページ)

1. 聖籠町の特産品作りを

# ズバリ 直言

# 町政を問う 一般質問

次回の定例会は、  
3月上旬 開催予定です





五十嵐利栄議員

# 防潮堤いつ設置する

## 町長 国や県に強く要請する

**問** 新潟東港地区に、東日本震災規模の津波が押し寄せたら、東港地区は無防備に近い状態で、壊滅的被害が予測される。国や県に防潮堤の対応策をどう求めていくか。

**町長** 東港の企業が所有している有害物資や危険物の実態を把握しているか。各企業は、法に基づいて安全管理をしていると思うが、津波などで流失し、人に接触したときの対応策を考えているか。LNGは過去にアメリカで、128人が死亡した爆発事故を起こした例がある。東港のLNGタンクは、地震などで漏洩しても外に漏れない防液堤の容積を保持しているか。



▲広大な面積を有している東港のゴルフ場

**町長** 県は、津波のシミュレーションを行っている。24年3月頃完成予定で、対策はその結果に基づいて行われる予定。町単独ではできないので、国や県に十分な対策を講ずるよう要請している。

町内企業全ての有害物質と危険物の保有状況は把握していない。屋内、屋外貯蔵施設事業所72社250施設ある。新発田地域広域消防署など専門的機関からの指導体制を確立している。

LNGが流失した際の住民への影響については、11月1日に立入検査を行い、一定の評価をしている。海拔13・8メートルの高さの防液堤も設置している。

# 東港の防犯対策強化を

## 町長 企業とも協議

**問** 東港地区には防犯灯がほとんど設置されていない。場所により防犯灯の設置が必要、という東港地区で働く人達の声が大い。

**町長** 東港の交通アクセスはエコバス・民営バスもほとんど走っていない。拠点港に選定された、東港全体の活性化、背後

地整備という観点から、対応が必要と考える。

**町長** 東港地区の防災連絡協議会でも検討をするよう、誘導していく。エコバスの更新時（1年〜2年後）委託に持つていくとき、委託機関とも連携し、新たな路線確保が可能か検討していく。

# 行政改革どう取り組む

## 町長 町民参加の行革を行う

**問** 行政改革の骨子3点人員削減・補助金の在り方、職員の意識改革にどう取り組むか。

**町長** 推進委員の提言を真剣に受けとめ、対応する。

# 決定か図書館建設場所

## 町長 役場周辺に建設する

**問** 11月25日に図書館建設委員会から第1次答申が出された。

**町長** 第1次答申では具体的に建設場所が3カ所示された。場所を決定することで建設への今後のプロセスはどうなるのか。

**町長** 最終答申はいつか。図書館建設の所管はどこか。オープンする時期は。

**町長** 町長5期目の公約とはいえ、今後、図書館建設が具体的に動く段階で町民への説明は必要である。

**町長** 建設委員会からは、順位理由をつけた場所が3カ所答申された。

**町長** 答申内容を課長等の幹部職員と協議した結果、役場周辺が建設場所にふさわしいと判断した。

**町長** 最終答申は23年度中に、建設所管は町長部局と思っているが幹部会議で協議する。

**町長** オープンは平成26年4月を目指す。町民への説明・意見聴取会などは最終答申後を考えている。



▲児童クラブの環境改善を

# 公立図書館の役割示せ

## 町長 読書活動を推進する

しかし、時間の経過で当初から懸念された問題・課題が表面化している。今後の対応策をどう考えているか。

**町長** 学校図書館司書については、運営は教育委員会の所管である。政策決定者としては今後、司書という専門性を含めて、身分改善も考える。

**教育長** 子ども読書活動推進計画については、各学校の読書指導や図書館教育等の整合性をはかり、策定に向け検討する。

**一〇メモ**  
※司書とは？  
図書館で専門的職務に従事する者。国家資格を有し、図書の収集・整理・保管や閲覧などに関する業務を行う。



宮沢 光子議員

# 児童クラブの環境改善を

## 町長 施設のあり方を検討

**問** 平成15年から3小学校の校舎内に児童クラブが設置された。設置当初から設置場所が悪いと指摘されていた蓮野小学校、山倉小学校の環境改善をどう考えるか。

**町長** プレハブなどを建てて対応するという一案もあるが、国の施策を見ながら検討課題とする。





桜井 伶議員

春のサクランボ狩りは6月に5日間、毎日32人限定で募集し、160人参加した。参加費は1人5340円。秋のブドウ狩りは9月と10月に5日間、160人参加した。参加費は1人4670円である。

参加者よりアンケートをとり、サクランボ狩りの参加者の70%、ブドウ狩りの参加者の82%から良かったとの回答をもらった。

# 町の観光PRは

## 町長 観光モニターツアーを実施

**問** 町長の施政方針にあげた、観光モニターの実施内容はどうかであったのか。募集人員、金額、どのような内容で人を集める参加者よりどのような声を聞くことができたか。

**町長** 観光モニターツアーは本年度で4回目の実施。春のサクランボと、秋のブドウの時期。内容は東港立地企業、ざぶーん館、観光農園、地場物産をまわる周遊コース。集客については、新聞に募集チラシを折り込みPRしてきたが、ほぼ即日の完売となり、毎日好評を得てきた。

**産業観光課長** 観光モニターツアーの内容について、サクランボの時期とブドウの時期。



▲大人気の観光モニターサクランボ狩り

# むし歯予防対策 どうする

## 町長 3歳6カ月まで フッ素歯面塗布無料

**問** 乳幼児、私立保育園、こども園、小・中学校でも、むし歯の有病率1人平均のむし歯数は年々下がっているが、県平均より高い。

その対策として、分野別目標を掲げている。3歳児むし歯有病率、現況値(平成21年度)23・9%を目標値(平成27年度)20%に、12歳児童についても、現況値(平成21年度)63%を目標値(平成27年度)40%に掲げている。

この目標値に対して、乳幼児のむし歯予防対策に、フッ化物歯面塗布が

**町長** 希望者に対し、フッ素の歯面塗布事業を開始したい。

対象は1歳2カ月児から3歳6カ月児までとし、6カ月間隔で歯科医師立ち会いのもと、歯科衛生士によるフッ素の歯面塗布。料金は当面無料で対応したい。

# 拠点港選定に 町の取り組みは

## 町長 国策としての対応に期待

**問** 新潟東港は、日本海側の中枢的な役割を担う「総合的拠点港」とされ、「重点投資高まる」2地元の取り組み課題」と報道されている。

国の具体的な支援策が示されていない中で選定を見据え、町は東港振興室を発足し、まちづくりに生かしたいと表明している。今後の取り組みをどうするのか。

町として、今回の東日

本大震災の被災企業含む企業誘致にどう取り組む。また、ゴルフ場の土地活用、ほか国道113号線と新新バイパス間の土地有効活用の考えはないか。

港湾機能がさらに拡充されると思うが大幅な輸入超過での出荷策は。

貨物船の再活用と陸上輸送網の利便性向上で大興野インターの新発田方面の乗り入れは。

また、新潟方面からの

国道113号線バイパスの接続は。

**町長** ゴルフ場については町の立場を理解してもらおうよう近々要請書などをあげていく。大夫興野地区は都市計画マスタープランで東港の背後地として位置づける。

出荷策については、関東地区を対象に企業向けに新潟港活用セミナーを開催する。

道路網の整備では、大夫興野インターは幹線4車線で国からの返事に期待している。

国道113号線バイパスは交差点に水道埋設管があるということで、24年度にずれ込む見込み。

# 町の農業どうする

## 町長 農地の荒廃はない



▲もちつき器導入により稼働率上昇中の農産物加工センター

**問** 第4次行政改革大綱答申で、農業に対しての補助金の抜本的な見直しがあるが、どうするのか。

葉たばこ農家の廃作で農地の転作は。

県営開拓パイロット事業で水漏れするビニール田の指導は。

加工センターオープン

以後、「目指せ特産品開発」の現状は。

**町長** 農業に対しての補助金も透明性、公益性が求められる。

廃作に伴う新たな作付け指導については、県から町に協議があった。いろんな角度から検討の話があるので、今後、それらも視野に入れて考えていく。

ビニール水田、どういふ改善方法があるのか検討しながら対応。

今後も加工センターや地場物産館とも連携し拡充をはかる。



高松 守雄議員





堀 常正議員

# 東港への取り組みは

## 町長 新規企業の誘致

**問** 新潟東港が日本海拠点港に決定した。

今後、本格的な重点投資が期待されると思うが、町にとって最大の効果は何か。

また、他の拠点港と比較しても、交通体系、陸上輸送体系の不備、あるいは、ショッピングや宿泊など、バックヤードの整備が進んでいないなど、多くの問題点がある。

国県とは別に町単独でも整備する必要があると思うがどのように取り組むのか。

**町長** 拠点港に選定された効果は、港湾振興策によつて、東港工業地帯の新規企業誘致、旧立地企業の増産、そして、町単独の誘導策を起す必要性が生じることである。

次に、交通体系、陸上交通網の取り組みは、専用岸壁の整備と新築パイパスや東港とリンクする町道整備を確保することである。

バックヤード整備の問題も前向きに検討し、実現可能を前提として取り組む必要性を考えている。



▲技術の向上を目指して練習中

# 町の振興につながる情報を

## 町長 反省している

**問** 今月の広報せいろろの表紙は聖籠中学校の開校10周年式典」の人文写真であった。にもかかわらず、式典の記事は最終ページの1/4割いて掲載されたのみであった。聖籠中学校の開校10周年は町民にも大きな話題であるのに、わずかな情報が提供されただけだった。一方では、アルビレッ

クス新潟やJAPANサッカーカレッジの報告に2ページを割いている。「芸術・スポーツ・文化の町」などの新しいコーナーを設け、町のスポーツ文化団体の活動、活躍を等しく紹介することも必要と思う。

町の振興につながる情報を、町民が知りたい情報を広報せいろろに記載すべきでないか。

**町長** 編集のマンネリ化もあり、大事な10周年記念事業の広報が若干手薄であったと反省している。今後は、より町民に喜ばれる広報の編集に当たるよう指導していきたい。**総務課長** 内容についても日々検証が必要と考える。



小川益一郎議員

# 新潟州構想とは

## 町長 現状では所見なし

**問** 新潟県知事と新潟市長が提唱している新潟州構想では、県と市を合併して、新潟市を人口20万〜30万人の特別区に分けて区長を公選制にする打ち上げている。

二重行政の洗い出しに力点が置かれているようだが、合併した後の行政イメージが明確でない。大阪の府と市の選挙で圧勝した橋下徹大阪市長は大阪都構想を掲げているが、議論は不十分のようである。

①新潟州構想についての町長の所見は。  
②聖籠町にはどのような影響があるか。  
③県町村会での議論はあるか。

④新潟東港の諸事業についても現在把握できる状況でない。

**町長** ①知事や新潟市長から、構想の考え方や目的などの説明は受けていない。現状では所見を述べる立場ではない。  
②聖籠町に対する影響についても今のところ判断できる段階の情報や、県市から説明がないのでわからない。  
③県の町村会でも議論していない。  
④新潟東港の諸事業についても現在把握できる状況でない。

# 取扱店になぜ商工会は差別する

## 町長 協議の結果町も容認

**問** 町の地域活性化対策券が今回も2億円発行された。

町商工会が委託事業として取扱業者になつているが、活性化対策券の加盟登録手続に商工会員以外の取扱店は、登録料1万円を商工会に収めなければならぬ。

①商工会非会員はなぜ登録料1万円必要なのか。  
②活性化券の発行は「町内全体の活性化をはかり、町内事業者の経営安定に資すること」を目的にしている。

③町が補助する3000万円や印刷費など226万円は誰の原資か。  
④町民等しく享受されるべき補助事業が商工会にゆがめられた差別扱いだ。



▲にぎわった活性化対策券2次販売





中村恵美子議員

**問** ①特別養護老人ホームの増設を事業計画に入れるべきでないか。②市町村判断により予防給付の切り下げを可能とする介護予防・日常生活支援総合事業の導入はしなくても多様なサービスは可能でないか。③介護職員の医療行為、たん吸引など介護職員が行うことになる。専門でない介護職員が行うことは高齢者の命の安全性を脅かすことになるのではないか。④24時間サービスは、必要な

サービスが保障されない。事業として成立しないなど有効性は見えないのではないか。

**町長** ①特養ホームの整備は計画づけをする予定である。②独自の判断で給付制限は考えていない。③たん吸引は、法律の改正で、定められた研修を受けているので問題はない。④24時間地域巡回型訪問サービスは、本町の高齢者世帯の状況から差し迫った必要性はない。

## 特養ホームの整備計画を町長 計画づけの予定である

# TPPに対する町の農業政策は

## 町長 TPPには絶対反対



田中 智之議員

**問** 先月、野田首相はTPP交渉への参加を表明した。昨今の日本の通商交渉の流れを考えると自由経済化への進行は避けられず、とりわけ農業への影響ははかり知れないと懸念されている。

また、TPPを持ち出すまでもなく日本の農業はある意味「待ったなし」の状況でもある。

このような状況が農業を取り巻く中、今後、町の農業政策はどうあるべきか。「聖籠町 魅力ある農業調査研究報告書」で提言されているように大規模農業化なのか、6次産業化なのか、それとも他にあるのか。

また方向性を決めた後は、町の誇るべき農産物の販売戦略を官民が連携して打ち立てるべきと考える。

**町長** TPPには聖籠町長としても個人的にも絶対反対の立場である。「魅力ある農業研究会」の提言は、今の国策における政策体系の中で町が行いうる最低限の施策である。

しかし、TPPに参加して関税撤廃になると、現在講じている振興策自体が確保できなくなるおそれがある。

今後については農家の皆さん、JAとともに英知を結集し調整している。公助というのは実態を踏まえ振興策を計画し、それを誘導していく行政支援の役割を持つていて考える。

行政は区域内すべての産業についてビジョンを示す役割があると思うが、町長はどう考えるか。

**町長** TPPには聖籠町長としても個人的にも絶対反対の立場である。「魅力ある農業研究会」の提言は、今の国策における政策体系の中で町が行いうる最低限の施策である。

しかし、TPPに参加して関税撤廃になると、現在講じている振興策自体が確保できなくなるおそれがある。

今後については農家の皆さん、JAとともに英知を結集し調整している。公助というのは実態を踏まえ振興策を計画し、それを誘導していく行政支援の役割を持つていて考える。

## 加盟店登録料とらないで

### 町長 商工会と協議し対応

**問** 町地域活性化事業で非商工会員より1万円を登録料として取るべきでない。町内業者は平等にすべきでないか。

**町長** 町地域活性化事業については、いろんな問題があるのなら、商工会と協議し対応したい。

## 耐震シエルター実施を町長 住宅全体の耐震改修で

**問** 地震が来ても、例えば一室だけを丈夫な建物にする。寝室や居間など耐震シエルターの設置をすべきでないか。

**町長** 耐震シエルターは住宅倒壊から、人命確保のために有効と思う。しかし、大震災の備えは、住宅全体を考えた耐震改修を進めることが必要である。



▲入所希望者が多い特養ホーム

## 住宅リフォーム助成を町長 やる気はない

### 町長 やる気はない

**問** 住宅リフォーム助成も県内19自治体となり、新発田市、魚沼市で実施の方向で検討している。町で住宅リフォーム助成すべきでないか。

**町長** 住宅リフォーム助成は、やる気はない。

## 医療費助成 高校卒業まで町長 拡充の考えはない

**問** 現在の情勢の中、医療費助成を高校卒業まで拡充すべきでないか。

**町長** 当面、高校生まで拡充の考えはない。

## 防災無線受信機を無料貸与に町長 検討してみたい

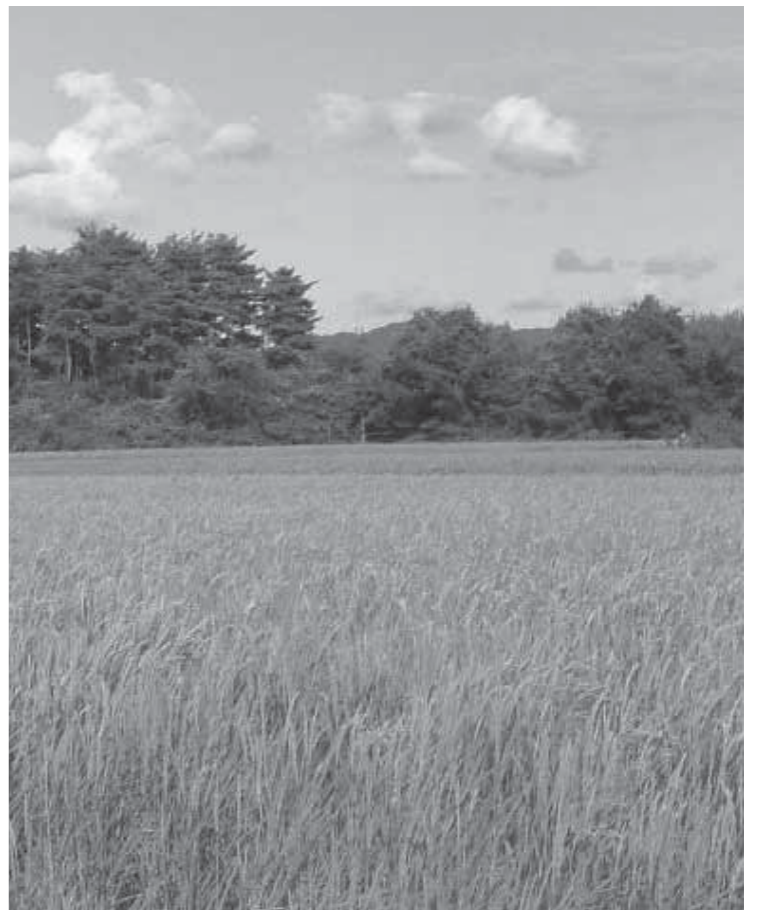
**問** 現在、町の防災行政無線受信機は1世帯につき1台無料貸与。企業は常勤雇用が20人以上の企業は無料貸与だが、20人未満の企業については有料となっている。

近年の防災意識の高まりの中で、それらが聞こ

りの中での受信機の重要性を考えると、基準を見直し一律に無料貸与とすべきだ。

**町長** 基本的には野外受信機で情報を周知している。しかし、それらが聞こえない場面もある。一方、事業所は夜間無人になることもあるため人数制限をしてきた。

今後、社会情勢を踏まえながら、見直しも含め検討してみたいと考える。



▲守れ聖籠の農業





田宮 実議員

**問** 拠点港について国交省は拠点港に選定し決定した。コンテナ部門とLNGの2部門である。聖籠町を活性化させるために、県外からの集荷を増やして輸出につながる対策が必要である。そのため町長自らが県外に向いての情報収集や、企業誘致の活動が必要と思う。

**町長** ビジョンを現実化し、今後新たなスタートラインに立って、県・新潟市・聖籠町、合わせて経済界も含め努力が必要で、その方向性を一つ一つ吟味しながら努める。

子どもたちの交流事業は継続しながら新たな方向けで交流も大切だ。検討を加えいろんな形を含めた中で訪問団を結成し調査活動することも考えている。新たな革新的エネルギーの環境戦略と国策で策定する現状を踏まえながら、有効的な活用も位置づけの中で東港の140ヘクタールという土地を、新日本石油㈱・東北電力㈱に要請して国の資源エネルギー庁にその政策要請をはかる予定。



▲町を緑に願いを込めて植樹祭

## 町の木と花も記念樹に

### 町長 大きな課題として取り組む

**問** 町では各家庭に入学祝い等に記念樹を進呈している。しかし、町の花である浜茄子と町の木である黒松の2種類が入っていない。せっかく緑あふれる夢づくりのまちづくりなのに指定樹木がない。各地域でも統一した樹木の植樹はできないか。

**町長** 町の花として位置づけ各家庭に植えていただくよう政策誘導する。緑化、花いっぱい運動の一環として、来年度以降の大きな課題として取り組みを検討する。

# どう生かす拠点港

## 町長 ビジョンを現実化

**問** 拠点港について国交省は拠点港に選定し決定した。コンテナ部門とLNGの2部門である。

があっても良いと思うがどう考えているか。

工業港地域には県の未売地、または利用目的外の土地（140ヘクタール）が多くある。このような土地活用には、拠点港を活用し産業の活性化につなげないか。

子どもたちの交流事業は継続しながら新たな方向けで交流も大切だ。検討を加えいろんな形を含めた中で訪問団を結成し調査活動することも考えている。

# 東港周辺の整備どうする

## 町長 計画の実現に向けて努力



小林 政栄議員

**問** 昨年8月に「日本海側拠点港に向けた計画書」が策定され、本年7月に「直江津港ビジョン」も策定もされた。

拠点港の指定により本格化する東港の整備と、それに伴って大きく影響を受けると考えられる関連周辺地域の発展、整備について、町長は聖籠町としてどのような対応をするのか。

**町長** 貿易の主要部門としてのコンテナターミナルの国際コンテナ物流。エネルギー部門としてLNGを対象としてビジョンを策定した。周辺環境に配慮し、官民一体となって環境の整備を進め、計画の実施に向け一層の努力をしていく。

## どこまで伸ばす 臨海鉄道

### 町長 鉄道の再整備と機能強化

**問** 拠点港形成のビジョンによれば、大幅な物流の増加が予測計画されており、「貨物鉄道ネットワークの活用」として新潟東港鉄道の乗り入れを実現し、集荷配送機能を強化するとの案があるが、どのようにされるのか。

**町長** 今回の計画で鉄道の再整備が組み込まれたことには感慨深いものがある。今後は物流としての鉄道貨物の輸送体系の拡充をはかる一方、公共交通機関としての機能の実現に向けて努力していく。



▲再開が待たれる臨海鉄道

## 周辺道路の拡充急げ

### 町長 再編成を推進

**問** ビジョンでは、一般道路網の整備状況の優良性を強調しているが、今後計画されている物流の増加及び交通量の増加に対して、どのようにするのか。

**町長** 道路の環境整備については、町のほうで調査費を計上しており、現状では割合いい形の中で推移していると理解している。今後は4車線化を始めとして、新たな路線の新設の可能性もある。道路整備の可能性も周辺整備としては将来出てくると理解している。





青木 順議員

# 聖籠町の特産品作りを

## 町長 具体的に取り組む

**問** 新潟東港が総合的拠点港の認定を受け、これから発展するに伴い、来町者が増えるが、聖籠をもっとアピールするために、新たに特産品づくりを町で取り組んだらどうか。

加工品だと、米粉や、聖籠ワインなどがある。ワインについては上越で製造されており、生産本数は、年々減っている。たとえば、聖籠にワイナリーがあったら、新たな雇用、観光名所という形で期待できる。TPPについて農家の話を聞いた。その農家は「今まで以上に自分の仕事にプライドを持ち、品質と信用で外国産と勝負していくんだ」と力強い

話をしており、本当に心強く魅力ある農業の本質ではないかと、強く感じた。技術、何より先輩の知恵を受け継いでいかなないと、いずれ聖籠町らしい特産物はなくなってしまうのではと思う。

今年の9月に、月岡カリオンパークで行われた国際ご当地グルメグランプリにて聖籠町のブドウを使ったジェラートがあった。見事スイーツ部門で1位という成績であり、テレビでも取り上げられ、ものすごい話題であった。例えばジェラートだから、長期保存も可能なこと、町の特産品を扱った商品がいつでも食べられるということ、B品も活用できる利点がある。



▲地産地消で特産品づくり



▲みんなで伸ばそう地元特産品

**町長** ワインについては、生産体制、生産コストなどバランスを考えながら、専門の方、農家の方と検討していきたい。特産品については、今、第6次産業化という流れもあり、聖籠町も非常に恵まれた環境にある中で、これらの素材を生かして、大いにやっていきたい。さまざまな観点から消費者サイドに立って考え

ていけば必ず魅力ある企画もできるし、消費の拡大につながれば生産体制も確立できる。いろいろな効果が期待され町長としても、行政的な支援する立場としても努力していきたいと基本的に考えているので、一緒に頑張っていきたい。

# 閉会中の委員会報告

## 高齢者が元気なひけつを学ぶ

### 厚生産業

11月14日、徳島県上勝町を視察した。上勝町は、徳島県中部に位置する自治体で、ごみゼロ運動や「彩(いろどり)」の栽培などがマスコミに取り上げられ、全国的に知られている。

さらに住民参加型のバイオマス利用活用にも取り組んでいる。上勝町は人口1913人の内65歳以上が935人と高齢化率(48・88%)が徳島県下で一番高い町であるが、高齢者福祉施策(医療及び介護保険事業含む)の老人福祉事業として8事業が実施されている。

特に高齢者等の安心安全見守り事業は、町内に整備された情報通信基盤を活用し、緊急通報だけでなく、町外に暮らす親族もパソコ



ンや携帯電話で閲覧できる事業である。

医療及び介護保険事業は、地域支援事業として3事業実施されている。さらにはコミュニケーションビジネスとして地域資源を活用した第3セクター会社5社が町内にある(雇用の創出)。地域の特性を生かし全国一高地の棚田オーナー制「彩」発祥の地として創意と工夫に富んだ事業が展開されている。

## 広報づくりに盛り上がった2日間

### 議会広報

10月24日・25日東京で開催された第75回町村議会広報研究会に当議会広報委員4人が受講した。33都道府県103の町村が受講し、初日は①文書の書き方、②レイアウトの基本、③広報の写真について、それぞれの講師からわかりやすい指導をいただいた。2日目は当町議会だより94号をはじめ、全国7町村の広報について、クリニックを受けた。当町の広報は、総体的にはレベルが高いと評価されたが、細かい点で種々指摘を受け今後の参考となった。

11月8日・9日、平成22年度町村議会広報コンクールで優良賞と奨励賞を受賞した、石川県志賀町と津幡町を視察した。それぞれの広報担当議員から広報作成の基本



的考え方、創意工夫し改善した内容・作成上の苦労話など熱心に説明していただき、意見交換も活発に行なった。参加者は、今後の広報づくりに大いに盛り上がった2日間だった。



# お知らせ

議会を傍聴してみませんか  
次回の定例会は、  
3月上旬開催の予定です。

今、町ではどんなことが論議されているのだろうか。どんな計画があってどう進んでいるのだろうか。あなたに身近なことも知れません。お気軽に傍聴においでください。

会議録は、町の図書館と保健福祉センターにおいてありますので、どうぞご覧ください。

なお、一般質問の通告一覧は、定例会開催前に役場1階窓口、町民会館、図書館、保健福祉センターに設置しますので、ご覧ください。



# 募集

あなたもみんなのページ  
聖籠町に嫁いで来た  
お嫁さんに出てみませんか！

もし、私も思っている方は、  
お気軽にご連絡ください。

対象者は町外から嫁いで来た  
お嫁さんです。

(連絡先)

町役場議会事務局

☎0254-27-1967 (直通)

## 議会広報対策 特別委員会

議長	須貝 龍夫
委員 長	五十嵐 利栄
副委員長	渡辺 利道
委員	堀 常正
	田村 富美男
	田中 智之
	青木 順

# みんなのページ

## 聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

### 楽しくすごしています



ありた ゆうか  
有田 結香 さん  
(亀塚)

**Q** どんなきっかけで彼と知り合いましたか？  
高校で知り合いました。

**Q** 聖籠町に嫁いできてどんなイメージを持ちましたか？

海が近く静かで、子育てをしていくのに安心できる環境だと思いました。

**Q** 町での生活はどうか？(楽しい新婚生活のエピソードもあったらお聞かせください)

家族やまわりの方に支えてもらいながら、楽しくすごしています。

**Q** 町に望むことはありますか？

これからも、人に優しく、住みやすい町であってほしいです。

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん、今回は新発田市出身で平成23年3月に嫁いで来た有田 結香(旧姓 野崎)さんです。  
皆さんよろしくお願ひします。

## 編集後記

改選後2回目となる12月議会は、14議員中12議員が質問に立った。議会も変わりつつあることを実感させられる。

議会だよりの役割は、議会の活動や行政の動きを広く町民にお知らせすることにある。

一人でも多くの町民に読んでもらえるような紙面づくりを目指し、議会閉会中に議会広報研修会への参加や先進地視察を行い、より見やすい、わかりやすい紙面づくりに努めた。今回の議会だよりは何が変わったか、比較するのも面白いと思う。

議会広報対策特別委員会  
副委員長 渡辺 利道